



知への初々しい憧れと畏敬の念

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第25号

令和4年5月9日

情報モラル教室

「一人1台端末を効果的・倫理的に活用する」ことを含め、誰もが自分に必要なデジタル機器とサービスを用い新しい技術を利用する能力が2030年代に求められます。こうした力は、デジタル・コンピテンスと言いますが、この力を高める役割を学校は負っているといえるでしょう。将来のグローバルな社会で、子どもたちはこの力がないと競争に負けてしまうでしょう。当然、効果性や効率性、生産性を求めるだけでは不十分で、この力には道徳性や倫理性が必要で、心がダメだったら何にもなりません。「信頼できる知識や情報を収集し、選択する」力も求められます。クリティカル・シンキングや情報活用能力のうちの情報モラルが必要なのです。

5月7日(土)、情報モラル教室を開催しました。ねらいは、子どもたちを取り巻くSNS等のネットワーク環境を理解し、正しい活用の仕方とネットワークに関わるトラブルから自分の守る手だてを学ぶことです。成長に合わせた授業内容となるため、3・4年生は1校時に、5・6年生は2校時に、そして、下校後全家庭で子どもと一緒にオンライン講習会を行いました。講師は、株式会社教育ネットのお助けネットインストラクターの先生です。

講師の先生からは、インターネットを上手に安全に使うにはどうすればよいのか、道具を使えば使うほど上手に使えるように、インターネットも正しく使うことができることを学びました。保護者に向けても、責任と義務についてお話いただきました。子どもは何をしてよくて、何をしてはいけないのかをしっかりと教えること。成人になるまでは、子どもは一人では生きていけませんから。オンラインゲームの依存的傾向の使用などが子どもに起こらないことを祈ります。



また、インターネット、SNSは便利だけれど、誤解しやすい、感情が怒りやすい、喜びやすい、感情的になりやすい、ということが分かりました。先述した2つの力が必要となります。こうした必要なことを、分かりやすく、子どもに説明していただきました。



最後に糶谷小SNSルールを改めて確認します。

- ① 1日1時間以上使用しない。
- ② 夜8時半以降は利用しない。
- ③ 宿題などの家庭学習中は、SNSを利用しない。
- ④ 写真や個人情報は、SNS上に載せない。

今回の教室には、保護者家庭数445のうち335家庭が参加してくださいました。子どもがインターネットを安全に正しく使う力を育てるために、今後も学校と家庭とで連携・協力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

進取の素 学級経営に役立つ格言 25 板書をスマホで写しておこう